

【参考】

手取川における量的・質的整備の「多段階浸水想定図」「水害リスクマップ」について

現状と課題

- ・これまで堤防嵩上げや河床掘削等を実施してきたことにより、下流の一部区間を除いて、ほぼ計画の流量を流下させることが出来る河道断面となっています。
- ・下流部で流入する支川熊田川・西川との合流点の整備が完了していないため、手取川本川の洪水により逆流し、浸水被害が生じる恐れがあります。

- ・手取川は急流河川であるため、洪水の流れが速く、侵食や洗掘により堤防が決壊する危険性があります。



量的整備

質的整備

整備内容

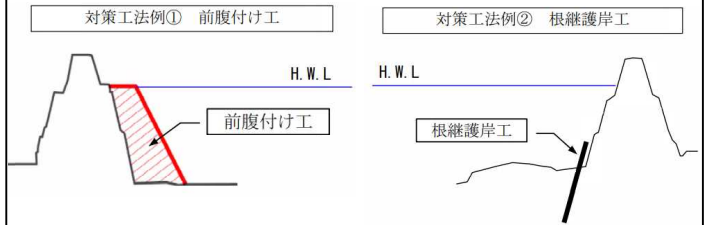
洪水を安全に流下させるために必要な堤防の一部嵩上げ等の整備、支川合流部の施設整備

流下能力の向上



河岸の侵食・洗掘から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備

急流河川の特徴を踏まえた堤防強化

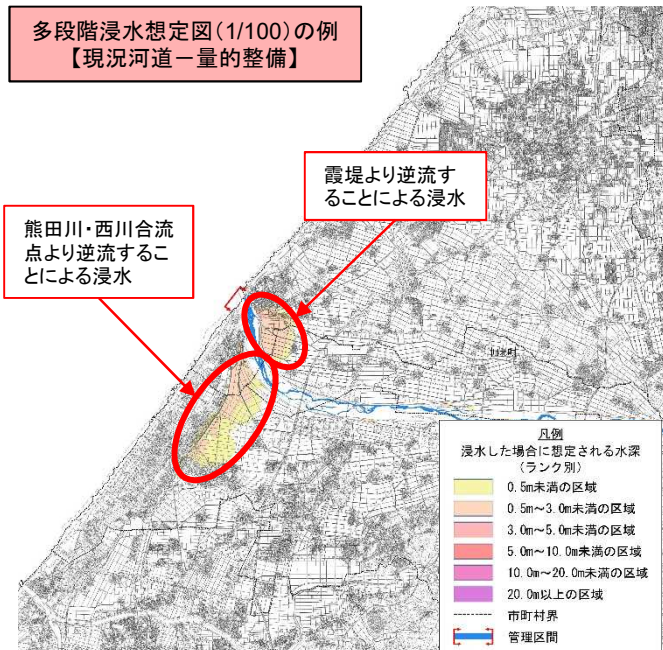


それぞれの整備状況进行评估

**「量的整備」を評価した
多段階浸水想定図・水害リスクマップ**

量的整備の評価とは、これまでに行ってきた河道掘削や堤防整備等の河道の整備状況を示すために、洪水を安全に流下させるために必要な堤防の高さや幅、支川合流部の施設整備等が十分でない場合に生じる、堤防等からの越水や堤防決壊、支川への逆流による浸水の状況をシミュレーションにより算出したもの

多段階浸水想定図(1/100)の例
【現況河道－量的整備】



**「質的整備」を評価した
多段階浸水想定図・水害リスクマップ**

質的整備の評価とは、急流河川である手取川では、河岸の侵食・洗掘等が堤防決壊の原因となり、低い水位でも破堤する恐れがあることを踏まえて、堤防付近の洗掘や侵食に対して十分な抵抗力を持たない堤防の決壊を考慮した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したもの

多段階浸水想定図(1/100)の例
【現況河道－質的整備】

